

移住・定住先進地と伝統工芸を活かした公園整備を視察調査 ～総務建設委員会～

10月16日から17日までの2日間、鳥取県北栄町の移住・定住対策の取り組みと島根県松江市の「出雲かんべの里」について視察調査を行いました。

北栄町の移住・定住対策

鳥取県のはば中央に位置する人口約1万4千人の北栄町は、大栄スイカや砂丘長芋、らっきょう等の生産が盛んな農業のまちです。また、名探偵コナンの作者・青山剛昌さんの出身地にちなんだ関連施設やコナンのオブジェが並ぶ「コナン通り」など「名探偵コナンに会えるまち」づくりを進めており、年間80万人の観光客が訪れる観光のまちでもあります。

移住・定住対策として役場内に専任支援員を置く移住相談窓口を設置し、空き家バンク、おためし住宅、空き家改修補助金など多彩な住宅支援制度、就労・就農・起業支援、地域おこし協力隊事業、出産から子育て期まで切れ目のない子育て支援策などを通じて、毎年100人前後の移住者を受け入れています。

また、国（総務省・国土交通省・経済産業省）や東京大学、民間企業等と連携し、関係人口の創出を深化させた「二地域居住」の取り組みを展開しています。



北栄町の担当職員から詳しく説明を受けました



北栄町の魅力満載の「移住ガイドブック」



おためし住宅（パンフレット）



視察を終えて名探偵コナン前で

出雲かんべの里（島根県松江市）

20ヶ所の緑に囲まれた広大な自然の中で、出雲地方の歴史と文化を学ぶ施設として平成6年に開館しました。

施設内には、見て触れて体験できる工芸館（木工・籐細工・機織り・陶芸）、語り部による民話館、レストランなどがあり、地元のNPO法人に運営委託され、年間12万人の入館者を受け入れています。

開館後30年が経過し施設全体が老朽化しており毎年修繕に追われていること、駐車場スペースが30台と狭いことから大規模なイベント開催が困難なことなどが課題とのことでした。



機織りの職人さん（工芸館）



木工の職人さん（工芸館）



民話館の語り部さん

今回の行政視察を踏まえ、本町が進める『筆の里工房周辺整備事業』と『移住・定住対策』について、今後の提案につなげたいと考えています。

筆の里工房周辺整備事業（観光交流施設・公園整備）の工事進捗状況を視察しました！

～総務建設委員会～

筆の里工房北側で令和8年9月のオープンを目指し、令和7年5月から工事が行われている観光交流施設の名称が『筆の里工房・創作館』に決まりました。

本委員会では、10月21日に町の担当者から同創作館及び都市公園（調整池擁壁・駐車場）の進捗状況と今後のスケジュールについて説明を受けるとともに、現地視察を行いました。



観光交流施設の概要

【構造】木造一部鉄骨造

【延床面積】2,359m²

【工期】令和7年5月26日～令和8年5月25日



【観光交流施設・基礎工事の様子】



【調整池擁壁工事の様子】

